

耐震化状況一覧

■ 幼稚園施設(木造以外の建物で2階以上又は延床面積200㎡を超える建築物)
(木造の建物で3階以上又は延床面積500㎡を超える建築物)

平成31年4月1日現在

学校名	建物区分	棟番号	建設年月	面積㎡	構造・階数	診断時耐震指標(Is値)	備考
1 勝倉幼稚園(1棟)	園舎	1	S46.3	561	RC1	0.90	耐震性あり
2 市毛幼稚園(1棟)	園舎	1	S43.3	606	S1	0.19	
3 佐野幼稚園(2棟)	園舎	1	S45.3	307	S1	0.43	耐震化対応済(補強)
	園舎	2	S45.3	270	S1	0.05	耐震化対応済(補強)
4 高野幼稚園(2棟)	園舎	1	S49.3	318	1	0.12	耐震化対応済(補強)
	園舎	8	S49.3	149	1	0.12	耐震化対応済(補強)
5 東石川幼稚園(1棟)	園舎	1	S52.3	662	S2	0.13	耐震化対応済(補強)
6 那珂湊第一幼稚園(1棟)	園舎	1	H3.6	778	RC1	—	新耐震基準(S57年以降)
7 那珂湊第三幼稚園(1棟)	園舎	1	S48.1	337	S1	0.30	耐震化対応済(補強)
8 平磯幼稚園(1棟)	園舎	1	S45.5	272	RC1	1.27	耐震性あり
幼稚園合計10棟							

※ 耐震診断対象外施設: 那珂湊第二幼稚園, 磯崎幼稚園

※色づけの解説

	 : 新耐震基準(S57年以降)又は耐震性あり若しくは耐震化対応済の建物	 : 工事中の建物
	 : 耐震化工事予定建物	

※用語の解説

「耐震指標」
(Is値)とは……

- (1) 耐震2次診断により算出される指標で、建物の耐震性能を表す指標。
- (2) Is値は、①地震力に対する建築物の強度、②地震力に対する建築物の靱性(変形能力、粘り強さ)が大きいほど、この指標も大きくなり、耐震性能が高いことを表す。
- (3) 地震は震度6強程度を想定している。

Is値<0.3 : 大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
0.3≤Is値<0.6 : 大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
0.6≤Is値 : 大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

なお、文部科学省では、地震時の児童・生徒の安全性と被災直後の避難場所としての機能を考慮して、Is値を0.7以上とすることとしている。

「構造・階数」…………… RC : 鉄筋コンクリート造
S : 鉄骨造
数字 : 地上階数

「建物区分」…………… 園舎 : 保育室・遊戯室

「耐震化工事」…………… 耐震化を行う工事であって、補強・改築・解体等の工事をいう。